

2015年夏、路上で声を上げ続け国会前を群衆で埋め尽くした学生団体「SEALDs」。彼らの激動の夏に密着したドキュメンタリー。 **5.18 都内初の自主上映**

2016年5月18日(水)

14:00- / 18:30- (2回上映)

本編165分+ゲストトーク15分

小金井宮地楽器ホール

(市民交流センター)小ホール

JR中央線 武蔵小金井駅 南口すぐ

上映協力券 予約1000円 / 当日1200円
学生・高校生以下 予約800円 / 当日1000円

◆チケット販売協力◆

セレクトショップゆうすい(南口徒歩4分)
宮地楽器ホール事務室

詳細・WEB予約は上映会特設サイトへ→
<http://film-aml-koganei.strikingly.com/>



わたし
の
~SEALDs 2015~

直曲に

終わったなら、
はじめるぞ。

ついで

監督&シールズメンバーのトークあり

LOOKS LIKE I
FEEL ME
WHAT DEVELOP



ひとりひとり



孤独に思考し判断しろ



思っていたことを



ちゃんと伝えたい



自分の子どもの未来のためにやっているという感じ



たれも代表ではないし



逆に言えば全員が代表です



それこそが 不断の努力です



主権者は 俺たちだ



全然諦めてないぞ



民主主義ってなんだ



ついに100年間 戦争をしてこなかったと その祝いの鐘を鳴らしたい



過去から 未来から 生まれる子どもたちから 私たちが問われています



これをスタンダードにみてる



中学生が大人になったとき どんなことになってるかなと思います



2015年。第二次世界大戦以後、70年間、平和国家として歩んできた日本の安全保障が、大きく変わろうとしていた。安倍晋三首相率いる自民党は、これまでの憲法解釈を180度転換し、集団的自衛権の行使容認を含む新たな安全保障関連法案を国会に提出した。日本国憲法第9条で定められた、戦争放棄に反するこの政府の動きに、世界一政治に無関心といわれた日本

国民、特に若い世代が大きな危機感を持った。東京を中心に立ち上がった、学生団体「SEALDs」(シールズ: Students Emergency Action for Liberal Democracy-s)は、毎週金曜日に国会議事堂前で抗議活動を開始し、その動きは日本全土に広がった。この映画は、数名の若者たちが手探りではじめた社会運動の、半年間の記録である。

監督・撮影・編集・製作: 西原孝至 撮影応援・カラスト: 山本大輔 サウンドデザイン: 柳智隆
 宣伝協力: contrail 配給協力: アップリンク 配給・宣伝: sky-key factory
 2016年/日本/カラー/165分/16:9/DCP ©2016 sky-key factory, Takashi NISHIHARA
 about-my-liberty.com facebook.com/about.my.liberty/ @Film_AML2015

5月18日水 14:00 / 18:30

主催: Film_AML@MUSAKO 上映プロジェクト

協賛: こがねいピースアクション 2015 実行委員会

武蔵小金井駅 南口すぐ
小金井宮地楽器ホール
 (市民交流センター) 小ホール

musako.film.prj@gmail.com 080-6944-4174(加藤)